

人間生活学研究科 博士前期課程 カリキュラムマップ（R7～）

ディプロマ・ポリシー ◎＝学修成果の修得のために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得のために重要な科目			共通ディプロマ・ポリシー		領域別ディプロマ・ポリシー【栄養・生活学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【社会福祉学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【文化学領域】		
			1）人間の生活に根ざした学問（栄養・生活学、社会福祉学、文化学）を基盤に、専攻領域及び関連領域における学術的知識を身に付けている。	2）設定した研究課題を学際的・科学的な視点で捉え、学問の体系化と発展に寄与する研究能力を身に付けている。	1）栄養・生活に関する分野における専門的な知識と技術を身に付けている。（知識・理解）	2）地域社会の特性を踏まえ、栄養・生活に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。（研究遂行能力）	3）グローバルな視野を持って、栄養・生活に関する諸課題に取り組む、その過程で得られた技術や知識を世界に向けて発信できる力を身に付けている。（総合的な学修経験と創造的思考力）	1）社会福祉学の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。（知識・理解）	2）地域社会の特性を踏まえ、社会福祉に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。（研究遂行能力）	3）グローバルな視野を持って、社会福祉学の新たな支援方法や資源の開発等に取り組む、創造的な実践を展開できる力を身に付けている。（総合的な学修経験と創造的思考力）	1）文化研究の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。（知識・理解）	2）文化に関する地域の諸課題を人文科学的または社会科学の視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。（研究遂行能力）	3）文化に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を地域に向けて発信できる力を身に付けている。（総合的な学修経験と創造的思考力）
共通科目	大学院共通科目	研究と倫理	◎	○									
		教育学特論	◎	○									
		教育心理学特論	◎	○									
		ジェンダー論	◎	○									
		臨床倫理	◎	○									
		グローバルヘルス論	◎	○									
		ケア論	◎	○									
		看護マネジメント論	◎	○									
	専攻共通科目	研究方法論Ⅰ	○	◎		○							
		研究方法論Ⅱ	○					◎	○				
		研究方法論Ⅲ	◎	○							○		
		データ解析論	◎	○	○								
		地域資源論	◎	○							○	◎	◎
		健康リハビリテーション論	○	◎									
		福祉マネジメント論	◎	○				○					

人間生活学研究科 博士前期課程 カリキュラムマップ（R7～）

ディプロマ・ポリシー ◎＝学修成果の修得のために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得のために重要な科目				共通ディプロマ・ポリシー		領域別ディプロマ・ポリシー【栄養・生活学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【社会福祉学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【文化学領域】		
				1) 人間の生活に根ざした学問（栄養・生活学、社会福祉学、文化学）を基盤に、専攻領域及び関連領域における学術的知識を身に付けている。	2) 設定した研究課題を学際的・科学的な視点で捉え、学問の体系化と発展に寄与する研究能力を身に付けている。	1) 栄養・生活に関する分野における専門的な知識と技術を身に付けている。（知識・理解）	2) 地域社会の特性を踏まえ、栄養・生活に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。（研究遂行能力）	3) グローバルな視野を持って、栄養・生活に関する諸課題に取り組む、その過程で得られた技術や知識を世界に向けて発信できる力を身に付けている。（総合的な学修経験と創造的思考力）	1) 社会福祉学の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。（知識・理解）	2) 地域社会の特性を踏まえ、社会福祉に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。（研究遂行能力）	3) グローバルな視野を持って、社会福祉学の新たな支援方法や資源の開発等に取り組む、創造的な実践を展開できる力を身に付けている。（総合的な学修経験と創造的思考力）	1) 文化研究の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。（知識・理解）	2) 文化に関する地域の諸課題を人文科学的または社会科学の視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。（研究遂行能力）	3) 文化に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を地域に向けて発信できる力を身に付けている。（総合的な学修経験と創造的思考力）
人間生活学研究科	博士前期課程	栄養・生活学領域科目	食物科学	食品生化学特論	○	○	◎							
				食品製造学特論	○		◎							
				調理科学特論	○		◎	○						
				食物科学実践演習	○		◎	○						
			人間栄養学	栄養学特論	○		◎	○						
				臨床栄養学特論	○		◎	○						
				健康動態論	○		◎							
				栄養疫学論		○	◎	○						
			栄養・生活学	栄養・生活特論	○		◎	○						
				実践栄養学特論	○		◎	○						
				栄養・生活統計論	○		◎	○						
				環境生態論	○	○	◎							
				災害栄養フード・アセスメント論	○		◎	○	○					

人間生活学研究科 博士前期課程 カリキュラムマップ（R7～）

				共通ディプロマ・ポリシー		領域別ディプロマ・ポリシー【栄養・生活学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【社会福祉学領域】			領域別ディプロマ・ポリシー【文化学領域】		
				1) 人間の生活に根ざした学問（栄養・生活学、社会福祉学、文化学）を基盤に、専攻領域及び関連領域における学術的知識を身に付けている。	2) 設定した研究課題を学際的・科学的な視点で捉え、学問の体系化と発展に寄与する研究能力を身に付けている。	1) 栄養・生活に関する分野における専門的な知識と技術を身に付けている。（知識・理解）	2) 地域社会の特性を踏まえ、栄養・生活に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。（研究遂行能力）	3) グローバルな視野を持って、栄養・生活に関する諸課題に取り組む、その過程で得られた技術や知識を世界に向けて発信できる力を身に付けている。（総合的な学修経験と創造的思考力）	1) 社会福祉学の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。（知識・理解）	2) 地域社会の特性を踏まえ、社会福祉に関する諸課題を科学的視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。（研究遂行能力）	3) グローバルな視野を持って、社会福祉学の新たな支援方法や資源の開発等に取り組む、創造的な実践を展開できる力を身に付けている。（総合的な学修経験と創造的思考力）	1) 文化研究の分野における専門的な知識と技術を身に付けている。（知識・理解）	2) 文化に関する地域の諸課題を人文科学的または社会科学の視点で捉え、解決のための具体的な方策を提言できる研究能力を身に付けている。（研究遂行能力）	3) 文化に関する諸課題に取り組み、その過程で得られた技術や知識を地域に向けて発信できる力を身に付けている。（総合的な学修経験と創造的思考力）
ディプロマ・ポリシー ◎＝学修成果の修得のために特に重要な科目 ○＝学修成果の修得のために重要な科目														
専 門 科 目	社会福祉学領域科目	福祉専門基礎分野	社会福祉原論	○					◎					
			福祉リハビリテーション論	○	◎									
			ソーシャルワーク論	○					◎	○				
			社会保障論	○	○				◎					
			福祉行財政論	○	○				◎					
			認知症ケア論	○	○				◎	○				
		地域社会・多文化分野	地域福祉論	○	○					◎				
			地域福祉政策論	○	○					◎				
			国際福祉論	○	○				○		◎			
			多文化福祉論	○	○					○	◎			
		高齢分野	介護福祉論	○					◎		○			
			高齢者福祉論	○					◎	○				
		障害分野	障害者福祉論	○					◎	○				
			精神保健福祉論	○					◎	○				
		児童・家庭分野	児童支援福祉論	○					◎		○			
			家族支援福祉論	○					◎		○			

